

# 「愛に満ちるクリスマス」

I ヨハネ4：7-16

堀田修一 23・12・24

## I 神の偉大な愛

1. 「神は愛だからです。神はそのひとり子を世に遣わし（クリスマスに）、その方によって 私たちにいのちを得させてくださいました。それによって 神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪（殺人、不貞、銀行強盗、詐欺、賄賂、裏金の脱税等の貪欲さ。表に出る罪だけではなく、私たちの心の中の憎しみ、恨み、人を赦さず、根に持ち続ける、汚れ、悪口、陰口、SNS 等で人の人格を一方向的に攻撃し傷つける、陰湿ないじめで、ある人を自殺に追い込む、他の人を力、権力で支配し人格を縛る、健全な正しい意見を言わせない圧力の罪）のために、宥めのささげ物（私たち全人類の罪の刑罰を主イエスが身代わりに十字架で受けられる死）としての御子を遣わされました（主イエスは神であられるのに人となられクリスマスに生まれ、生涯、一つも悪い事、罪（心の罪も）を犯されず、人々を純粋な愛で愛し抜かれたが、人々に誤解され、ねたまれ、私たち全人類の罪のために十字架で死なれた）。ここに愛があるのです」：8-10。
2. 神の愛は、人間の愛のように、気まぐれで、変わりやすいものではなく、また、決して実現できないことを口先だけで「愛しているよ」という軽いものではありません。かえって、神の全存在をもって自発的に決定される愛、自由に選び、いつくしみ深く、私たちに本当に必要なもの、益となるものを識別して与えて下さる愛です。全能の神の愛には、移り気や変化がありません。なにものも、神の愛から、私たちを引き離すことはできません。ローマ8：39。
3. 「神は愛です」というみことばは、神が語り、また行われるあらゆる御業の中に、神の愛の現れを見出すことが出来るという意味です。これは、最高の慰めです。パウロは、キリストがクリスマスに世に来られ、自分の罪のために十字架に付けられた御業の中に、自分が神によって愛されている者であることの確証を見出します。「私を愛し私のためにご自分をお捨てになった（十字架で大切な命を捨てられた）神の御子」ガラテヤ2：20。私たちは、まず神に愛され、神の愛を受けるときに、私たちも神を分かち合う者に変えられ、「神の御計画によって召された（救いに招かれた）私たちのために、すべてのことをともに働かせて益としてくださる」という約束（ローマ8：28）を自分に適用することができるようになります。単に、いくつかの事が益になるのではなく、私たちに対して起こる、どんなに小さなことでも、私たちに対する神の愛を現しており、私たちに対する神の御計画をさらに深く知るために私たちに起こったのです。私たちによっては、あらゆる瞬間において、また、毎日の生活の中におけるあらゆる出来事の中で、神は私たちに対して愛のお方です。たとえ、私たちが、なぜ、どのようなわけで、神がこのような事が私の身に起こるのを許されたのか、理解できない時にも、それらの中に、その背後には人知をはるかに越えた神の愛があり、人間的に見れば、事態が悪化して行くように思われるときも、常に喜ぶことが出来るのです！その試練の中でも、インマヌエルの神がともにおられ、神に愛されている恵み、神がすべてを益としてくださる恵みがあるからです。

## Ⅱ 愛に満ちたキリストがクリスマスに、この世に、救い主として来てくださった目的

1. 「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」マタイ 11:28。もし、クリスマスに救い主キリストが、この世に来てくださらなければ、私たちの心の悩みの重荷、罪の重荷を担ってくださる方がいない人生でした。もしそうであれば、私たちは、疲れ果て、自分の心の悩みと自分の罪の重荷を負いつつ人生を歩み、最後は希望のない死を迎えるしかなかったのです。約二千年前に、主のクリスマス、十字架、復活の救いの御業がなかったら、全人類は自らの悪、罪の故に、とっくに滅んでいることでしょう。しかし、クリスマスの主は、今、実際に、私たちとともにおられますから、いつでも、主のもとに、自分の悩みを打ち明け、重荷を下ろし、自分の罪を告白し、赦していただいて、罪の重荷を下ろしましょう。主は、あなたを永遠に愛し続けてくださいます。

2. 「あなたがたのうちのだれかが羊を百匹持っていて、そのうちの一匹をなくしたら、…いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないでしょうか。見つけたら、喜んで羊を肩に担ぎ」ルカ 15:4, 5。

愛に満ちたキリストは、真の人生の正しい道から迷い、滅びに向かっている羊である私たちを捜して救うためにクリスマスにこの世に来られた救い主、真の羊飼、牧者です。※証し。

3. 「わたしが来たのは、羊たちがいのち（新しいいのち、復活のいのち、永遠のいのち）を得るため、それも豊かに得るためです。わたしは良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます（十字架で全人類の罪の刑罰を受けるために死にます）」ヨハネ 10:10, 11。

4. 「異邦人の支配者たちは人々に対して横柄にふるまい、偉い人たちは人々の上に権力をふるっています（多くの国の指導者、支配者たちは、神を恐れず横柄に振る舞い、権力を悪用する罪＝指導者の選手への間違った命令、ある大学の指導者たちの腐敗、経営者の横柄なふるまい、ある組織の悪質ないじめ、隠蔽、芸能界の力のある人々による不正、不品行、政治家の権力の悪用により裏金を集める罪、権力の悪用による不品行。神は愛と同時に義の方ですから、これらの悪、罪を檢察、裁判が忬度や見過ごすことをしても、神はすべてを見ておられ、神の時に正しくさばかれます）。あなたがたの間では、そうであってはなりません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、皆に仕える者になりなさい。あなたがたの間で先頭に立ちたいと思う者は、皆のしもべになりなさい。人の子（キリスト）が、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人たちのための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのと、同じようにしなさい」マタイ 20:25-28。

ある日本のクリスチャンの経営者が、「サーバントリーダーシップ」という本を出版された。その方のリーダーシップの土台は、マタイ 20:25-28の聖書のみことば、主イエスのリーダーシップが模範とされている。「人に仕えながら（上からの支配、横柄な強制ではなく、人々の健全な意見にも耳を傾け）リードし責任を負い決断して行く」「仕えつつ指導する」という聖書の教えは、教会の形成だけではなく、この世の会社、学校、医療、福祉、芸能界、スポーツ界、政治家の在り方にも通用する。今、用いられている経営者、選手を尊重し仕えながら指導するチームは生き生きとしています。好成績を上げる監督の特徴は、支配的、高圧的ではない人です。※証し。政治家が選挙の時だけ、頭を下げる人ではなく、普段から誠

実で国民に寄り添うような政治家が起こされるように祈ります。ここ数年のあらゆる分野の問題、事件の根は、人間が、恵みとまことに満ちた神の支配（神の御国）に背を向け、主が言われるように人間が人を支配し、「人々に対して横柄にふるまい、偉い人たちは人々の上に権力をふるっています（地位、権力の力を人々のためではなく、自分の保身、私利私欲のために乱用している。政治家の私利私欲の金の罪を人が見逃しても、神は、神の時に確実に裁かれる）」。

キリストが、クリスマスにこの世に来られたのは、神である主ご自身が仕える者となり、十字架で私たちの罪のために死に、死に勝利し復活し、いつも私たちと共にいてくださり、人間が互いに支配し合う罪を悔い改め、恵みとまことに満ちたイエス様を心に迎え、私たち人間が、恵みとまことに満ちた主を中心に生活し、互いに支配するのではなく、互いに仕え愛し合うためです。愛に満ちた主の誕生のクリスマスを感謝します！